



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 株式会社アイ・エス・ビー 上場取引所 東
 コード番号 9702 URL <https://www.isb.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 一史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 竹田 陽一 TEL 03-3490-1761
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	15,919	12.3	1,315	18.9	1,340	18.3	762	9.9
2022年12月期第2四半期	14,173	10.3	1,106	8.3	1,133	7.7	694	7.1

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 839百万円(17.7%) 2022年12月期第2四半期 712百万円(6.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	66.94	-
2022年12月期第2四半期	61.07	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	16,352	11,101	67.9
2022年12月期	16,458	10,682	64.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 11,101百万円 2022年12月期 10,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	0.00	-	40.00	40.00
2023年12月期	-	-	-	-	-
2023年12月期(予想)	-	-	-	42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	7.1	2,600	12.1	2,645	10.2	1,590	11.7	139.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	11,417,900株	2022年12月期	11,388,716株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	112株	2022年12月期	112株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	11,398,923株	2022年12月期2Q	11,372,507株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、第2四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の行動規制や水際対策の解除により、個人消費の持ち直しや、インバウンド需要の回復など、社会経済活動は正常化が進んでおります。

一方、資源価格の高騰やインフレ率の上昇に伴う金融の引き締め、長期化するウクライナ情勢等、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、最終年度を迎えた中期3か年計画「新しい一歩 ～ move up further～」の達成と、3つの重点戦略「顧客開拓、有望分野の拡大」、「ソリューション事業の創出」、「グループ経営強化」に取り組み、グループの持続的な成長と企業価値の向上に努めております。

なお、昨今の物価高を鑑み、2023年6月末日現在で在職しているアイ・エス・ビーグループ全従業員を対象に特別一時金として、インフレ手当を支給しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高159億19百万円（前年同四半期比12.3%増）、営業利益13億15百万円（同18.9%増）、経常利益13億40百万円（同18.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億62百万円（同9.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(情報サービス事業)

「モビリティソリューション」の携帯端末は、減少を見込んでおりましたが、前年並みに推移いたしました。基地局業務はピークを越え縮小いたしました。車載はメーター系を中心に伸長し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。「ビジネスインダストリーソリューション」の業務システムは、DX関連業務の受注が増加しており、既存顧客を軸に堅調に推移いたしました。組込みは、白物家電やAV機器等の受注が堅調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。「エンタープライズソリューション」の金融は、主要顧客からの受注が好調に推移し、公共は、官公庁のシステムを受注し堅調に推移いたしました。インフラは半導体不足緩和を受け、機器更改の受注が回復しており、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。「プロダクトソリューション」のMDM事業は、セキュリティ機能強化等により堅調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

利益面に関しましては、増収により調達コスト上昇や、営業活動の拡大、人材投資に掛かる販売費及び一般管理費の増加を吸収し、セグメント利益は前年同四半期に比べ増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は135億27百万円（前年同四半期比11.9%増）、セグメント利益は9億35百万円（同9.0%増）となりました。

(セキュリティシステム事業)

第1四半期に期ずれで売上計上した影響もあり、第2四半期会計期間の売上高はやや伸び悩んだものの、既設物件のリニューアル需要を計画以上に取り込めたこと、リカーリングビジネスが概ね計画通りに拡大できたこと等により、第2四半期累計期間を通して好調に推移し、売上高は、前年同四半期に比べ大きく増加いたしました。第3四半期以降の受注残も例年を上回って推移しており、当面の業績も底堅く推移すると予想しておりますが、仕入れ価格の上昇が一部見込まれることから、今後に関しては利益面にやや懸念を残す状況となっております。

利益面に関しましては、売上高の増加により、仕入れ価格の上昇を吸収したことに加え、リカーリングビジネスが堅調に推移し、セグメント利益は前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は23億92百万円（前年同四半期比14.8%増）、セグメント利益は3億29百万円（同36.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、163億52百万円と前連結会計年度末より1億5百万円減少いたしました。これは主として現金及び預金や前払費用、投資有価証券等の増加額を受取手形、売掛金及び契約資産、のれん等の減少額が上回ったことによるものであります。

負債は、52億51百万円と前連結会計年度末より5億24百万円減少いたしました。これは主として支払手形及び買掛金や契約負債、未払金、未払法人税等の減少額が未払費用、その他等の増加額を上回ったことによるものであります。

純資産は、111億1百万円と前連結会計年度末より4億18百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金やその他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定等の増加額によるものであります。

なお、自己資本比率は、67.9%と3.0ポイント増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4億93百万円の増加となり、前連結会計年度末（2022年12月31日）の資金残高76億26百万円を受け、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は81億19百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は10億6百万円の増加となりました。この増加は主として減価償却費64百万円、のれん償却額1億77百万円、売上債権の減少額5億18百万円、税金等調整前四半期純利益12億32百万円等の資金の増加要因が、仕入債務の減少額1億66百万円、未払金の減少額74百万円、未払消費税等の減少額32百万円、法人税等の支払額7億85百万円等の資金の減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は95百万円の減少となりました。この減少は主として、保険積立金の払戻による収入5百万円の資金の増加要因を有形固定資産の取得による支出69百万円や投資有価証券の取得による支出1百万円、会員権の取得による支出6百万円等の資金の減少要因が上回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は4億53百万円の減少となりました。この減少は主として、配当金の支払額4億53百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年4月28日に公表いたしました、2023年12月期の通期連結業績予想より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,629,247	8,122,756
受取手形、売掛金及び契約資産	5,420,235	4,841,548
前払費用	149,276	205,252
商品	726,140	747,893
貯蔵品	1,675	1,681
その他	144,870	112,602
貸倒引当金	△37,364	△6,118
流動資産合計	14,034,081	14,025,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	496,278	514,517
減価償却累計額及び減損損失累計額	△301,898	△310,508
建物及び構築物（純額）	194,380	204,008
土地	600,550	600,550
その他	800,767	842,849
減価償却累計額及び減損損失累計額	△591,319	△621,461
その他（純額）	209,447	221,388
有形固定資産合計	1,004,378	1,025,947
無形固定資産		
のれん	355,954	177,977
その他	38,950	33,840
無形固定資産合計	394,904	211,817
投資その他の資産		
投資有価証券	397,791	446,665
長期前払費用	6,454	7,216
差入保証金	319,054	335,552
繰延税金資産	246,079	239,388
その他	55,937	72,467
貸倒引当金	△0	△11,742
投資その他の資産合計	1,025,317	1,089,549
固定資産合計	2,424,600	2,327,313
資産合計	16,458,681	16,352,931

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,067,088	1,902,129
契約負債	196,055	143,198
短期借入金	120,000	120,000
未払金	1,239,505	1,153,770
未払費用	85,213	98,652
未払法人税等	769,582	461,607
未払消費税等	375,858	339,006
賞与引当金	28,836	36,276
役員賞与引当金	22,895	27,543
受注損失引当金	3,088	24,631
その他	323,263	376,109
流動負債合計	5,231,386	4,682,925
固定負債		
退職給付に係る負債	237,548	254,325
役員退職慰労引当金	54,034	54,528
資産除去債務	89,686	93,634
その他	163,211	166,288
固定負債合計	544,481	568,777
負債合計	5,775,867	5,251,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,361,512	2,378,921
資本剰余金	2,965,691	2,983,099
利益剰余金	5,218,072	5,525,523
自己株式	△92	△92
株主資本合計	10,545,183	10,887,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,138	139,109
為替換算調整勘定	32,491	74,667
その他の包括利益累計額合計	137,630	213,777
純資産合計	10,682,814	11,101,228
負債純資産合計	16,458,681	16,352,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	14,173,713	15,919,731
売上原価	10,740,441	12,049,754
売上総利益	3,433,271	3,869,977
販売費及び一般管理費	2,327,057	2,554,275
営業利益	1,106,213	1,315,701
営業外収益		
受取利息	6,544	8,352
受取配当金	8,803	8,511
保険解約返戻金	14,403	—
貸倒引当金戻入額	—	8,409
その他	2,697	4,797
営業外収益合計	32,449	30,071
営業外費用		
支払利息	372	367
新株発行費	476	31
手形売却損	895	1,021
為替差損	1,744	3,613
その他	1,841	272
営業外費用合計	5,330	5,306
経常利益	1,133,332	1,340,467
特別損失		
不正関連損失	—	107,858
特別損失合計	—	107,858
税金等調整前四半期純利益	1,133,332	1,232,609
法人税、住民税及び事業税	456,190	476,566
法人税等調整額	△17,378	△6,952
法人税等合計	438,812	469,614
四半期純利益	694,520	762,995
親会社株主に帰属する四半期純利益	694,520	762,995

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	694,520	762,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,475	33,970
為替換算調整勘定	59,757	42,175
その他の包括利益合計	18,282	76,146
四半期包括利益	712,803	839,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	712,803	839,141

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,133,332	1,232,609
減価償却費	69,496	64,773
のれん償却額	177,977	177,977
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△656	△20,078
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,515	5,049
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,691	4,648
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	593	21,543
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,473	16,361
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,135	494
受取利息及び受取配当金	△15,348	△16,864
支払利息	372	367
不正関連損失	—	107,858
売上債権の増減額 (△は増加)	188,935	518,222
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△108,233	△21,758
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,250	△166,006
未払金の増減額 (△は減少)	△153,888	△74,137
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△117,981	△32,538
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	16,142	191
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	56,164	46,934
その他	△378	17,251
小計	1,251,821	1,882,897
利息及び配当金の受取額	15,347	16,863
利息の支払額	△401	△394
不正による支出額	—	△107,858
法人税等の支払額	△458,899	△785,505
営業活動によるキャッシュ・フロー	807,867	1,006,002

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△41,073	△69,626
無形固定資産の取得による支出	△990	△902
投資有価証券の取得による支出	△1,629	△1,559
保険積立金の払戻による収入	75,727	5,045
長期前払費用の取得による支出	△408	△2,597
会員権の取得による支出	—	△6,545
その他	16,386	△19,322
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,012	△95,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△592	△600
配当金の支払額	△339,206	△453,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	△339,799	△453,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	53,064	36,932
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	569,145	493,509
現金及び現金同等物の期首残高	6,071,680	7,626,267
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,640,825	8,119,776

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	12,090,403	2,083,309	—	14,173,713
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,131	6,876	△69,008	—
計	12,152,535	2,090,186	△69,008	14,173,713
セグメント利益	858,956	241,887	5,369	1,106,213

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額（注）	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	13,527,374	2,392,357	—	15,919,731
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49,002	12,622	△61,624	—
計	13,576,376	2,404,980	△61,624	15,919,731
セグメント利益	935,883	329,045	50,773	1,315,701

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。